

優しさをもって接する、
ただそれだけ。

特集・九州



長崎県



こがはりきゅう整骨院

PROFILE
株式会社KOGA
こがはりきゅう整骨院

院長
古賀 伸吾 (こがしんご) 先生

はりきゅう師、あん摩マッサージ指圧師の免許取得後、長崎県諫早市の整骨院に5年間勤務。その後、東京都内の病院に勤務しながら柔道整復師の免許を取得し、こがはりきゅう整骨院を開業。地域に愛される治療院を目指しながら日々精進中。長崎県出身。38歳。

オレンジを基調としたロゴマーク。院長はじめスタッフの方々の暖かさが可愛いデザインのロゴにもあふれる。

(写真右)

待合室や治療ベッドには季節感あふれる写真が飾られ、患者さんの目を楽しませている。写真は院長のお父様の趣味とか。(写真左)



四国の学校ではり灸とあん摩マッサージ指圧師を取得後、地元に戻られ長崎県諫早市の整骨院で5年間修行。その後東京都内の病院に勤務しながら柔道整復師の免許を取得。長崎に戻り開業をするが住み慣れた地元から少し離れた現在の場所を選んだ。「実家の方は結構田舎で過疎化が進んでいるんです。ここは逆に人口がどんどん増えてまして。団地にも囲まれていて、若い家族がとても多い地域です。少子化と言われ

治療院の向かいには産婦人科、隣には女性専用のジムスタジオ、そして美容院。患者さんの半分以上が女性というもうなずける。「産婦人科に勤める助産師さんの来患さんが多いんです。で、その助産師さんたちに妊婦さんたちが腰が痛いとか相談して、それでご紹介いただくんですよ。『こがさん行ったらいいさ』って(笑)」と笑顔で話す古賀院長。「妊婦さんはほとんどが腰です。腰痛を訴えられるのでその治療が多いです。産前のケアですね。」と。「産後もとても大切です。骨盤開きますからね。なので骨盤調整もやっていますよ。」

スタッフ皆さんに明るい笑顔で迎えられる、朝からの長距離移動の疲れが吹き飛んだ。ここ、こがはりきゅう整骨院さんは、ご近所の産婦人科に通う妊婦さんに大人気だという。早速いろいろと話を聞いてみることに。午前中最後の患者さんが帰られ、さて取材インタビューを、と思いきや、「お腹空いたでしょ、ご飯食べに行きましょう」と、ランチのお誘い。治療院の並びにある美味しいカレー屋さんで古賀院長おススメの特製ナンで辛さ控えめのカレーに舌鼓を打ちながらのインタビュー。

2月18日(月)福岡でのセミナーを終えた翌日、博多駅から特急かもめ号に乗って約2時間。諫早を經由しJR長崎本線、肥前古賀駅に降り立った。少し山あいな位置するこの駅はとても静かな落ち着いた佇まいで、ほんわかした気持ちにさせられる小さな駅。車で15分程度で九州ツアー最初の目的地、こがはりきゅう整骨院さんに到着した。

この時代に、小学校では(1学年)8クラスとか。マンモス校なんです。なのでこの辺がいかかと思いい、この物件に決めました。」と、これは8年前の開業当時の話。マンモス校の小学校に今通っている子供たちが続々と生まれてくる頃にこの地に開業した訳で、前述の産婦人科の助産師さん、妊婦さんに人気となっていることがよくわかる。

もちろんこうした時勢と立地だけで今があるわけではないが、古賀院長は「初心を忘れない。懇切丁寧に、優しさをもって接する、ただそれだけ。」とあまり多くは語らない。そして、「あなたが嬉しいと私もうれしい。…これ、コマージュのバクリですけど(笑)」といったずらっぱい笑顔を見せる。

今は柔整師で二歳年下の弟さんと二人で治療にあたっている。取材の間、お二人のやり取りから日ごろの仲の良さが伺える。しかし、「各々の治療方針や患者さんについてはなるべく口は出さないようにしているんです。お互いに治療家として尊重し合っていますから、あえてそこは触れないですね。でも、どうしても困った症例の時は自然とコミュニケーション取れたりするんです。やっぱり兄弟だからでしょうね。」弟さんの古賀寛人先生は近々独立開業の予定とか。「メディックスに入らなはいかんね(笑)」と。ありがとうございます。これからもしっかりとサポートさせていただきます。

ランチ、ごちそうさまでした。



こがはりきゅう整骨院

〒851-0133
長崎県長崎市矢上町 35-3
Tel&Fax:095-838-5885
http://www.ne.jp/asahi/kogaharikyuu/seikotsuin/
診察時間
平日 8:00-19:00 土曜 8:00-13:00
休診：日曜・祝日